

浜坂地域プロジェクト

もうかる漁業創設支援事業実証結果報告

【事業実施者：浜坂町漁業協同組合】

実証期間：平成21年9月1日～平成24年8月31日

浜坂地域における沖合底びき網漁業網漁業において、90トン型鋼船を自動曳網装置を備えた65トン型FRP船に小型化し、建造費、燃料費、人件費の削減による生産コストの削減を図るとともに、主要漁獲物の一つであるホタルイカについてはチューブ詰め及び地元加工業者との連携による販売価格の向上を図り、収益性を改善することをねらいとする実証事業を行った。

実証項目

【生産に関する事項】

①コストの削減

- ・自動曳網装置の導入による乗組員1名削減
- ・発泡箱詰めからチューブ詰めへ

②労働環境の改善

【流通・販売に関する事項】

①販売単価向上

- ・ホタルイカのチューブ詰め



実証結果

【生産に関する事項】

- ①コスト削減に関して、(a)自動曳網装置の導入により8名体制(1名削減)で十分操業が可能であることを確認した。(b)初年度は漁場形成に起因し燃油消費量削減効果を実証するに至らなかったが、2年度10.4%、3年度3.8%の削減が図られ、省エネ船及び省エネ機関の導入効果を確認した。(c)ホタルイカの発泡箱からチューブ詰めへの変更によるコストの削減は、1年目、2年目ともに5kg入りチューブ詰め製品の単価が大幅に安値であったため、数回の出荷を行った後、当該方式での販売を見合わせた。3年目はホタルイカが不漁のため通常の発泡箱詰め製品の価格が高値で推移したことから5kg入りチューブ詰め製品の生産を見合わせた。このようにホタルイカの発泡箱詰めからチューブ詰めへの変更によるコスト削減については実証するに至らなかった。
- ②ハードオーニングの導入により魚の選別、箱詰め作業の環境改善がなされ、海況条件の厳しい冬季操業時の安全性が確保された。また、オーニング内にエアコンを設置したことにより残暑厳しい時期の暑さ対策にも大きく貢献した。

【流通・販売に関する事項】

- ①販売単価向上に関して、ホタルイカの5kg入りチューブ詰め製品による販売単価向上を実証することはできなかったが、生鮮向け1kg入りチューブ詰め製品(漁協が買い取り、漁連への販売)で販売単価向上の可能性が示唆された。

収益性の改善について

上記のとおり、実証項目については一定の成果を得た。実証事業による水揚げ量及び水揚げ金額は、いずれの年度も改革計画の目標値(218トン、143,729千円)を上回ったが、燃油価格の高騰により事業経費が改革計画の設定目標値を大幅に上回ったことにより、償却前利益は、各年ともに改革計画の目標値を若干下回った。今後とも、実証船の効率的運用の習熟を進め、生産コストの削減とホタルイカ等の付加価値向上等を図り、当該構造改革による収益性の改善に努めていく。